

日 医 生 涯 教 育 講 座

専門医共通講習会 【医療倫理・感染対策・医療安全】(必修)

日時：令和元年11月9日(土) 14:30~17:50

場所：岡山県医師会館 三木記念ホール (岡山市北区駅元町19-2)

14:35~15:35

座長 岡山県医師会常任理事 合地 明

1. 「医療メディエーション：対話による関係調整：」

早稲田大学大学院法務研究科教授 和田 仁孝 先生

患者と医師のコミュニケーションに内在する困難の理論的背景を理解し、それに基づいた対話を心がけることで、トラブルを予防することができ、また、発生した事故や苦情への対応もスムーズに行うことができる。そのモデルである医療メディエーションを紹介したい。

15:35~16:35

座長 岡山県医師会常任理事 藤本 政明

2. 「忍び寄る薬剤耐性菌 (AMR) の脅威

～私たちが現場でできることは?～」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 総合内科学 准教授

(瀬戸内(まるがめ)総合診療医学講座) 萩谷 英大 先生

薬剤耐性菌(AMR, antimicrobial resistance)の世界的拡散が止まらない。2050年にはAMR関連死亡数は世界中で1000万人以上に上ると試算されている中、日常診療で私たちができることを考える。

16:45~17:45

座長 岡山県医師会副会長 清水 信義

3. 「End-of-Life CareとACP (アドバンスケアプランニング)

—ACPは「終末期医療の倫理」の熟慮・発展のプロセスから生まれた産物である—」

日本臨床倫理学会総務担当理事

東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野客員研究員

箕岡医院院長 箕岡 真子 先生

End-of-Life Careにおいて、アドバンスケアプランニング(ACP)は、最近、しばしばクローズアップされている言葉であるが、決して最近、突然にACPという言葉が出てきたわけではない。「終末期医療におけるさまざまな困難な倫理的問題をどうやって解決すればよいのか?」という医療ケア専門家の苦悩に満ちた深い悩みの中から、「終末期医療の倫理」を熟慮・発展させてきたプロセスから生まれた産物なのである。本日は「終末期医療の倫理の基礎」の概要と、ACPの真に意味するところをお話したい。

- ・専門医共通講習会参加証が必要な方は、受付にて引換券をお渡ししますので会終了後に受付にお越しください。
- ・会員専用駐車場は台数に限りがございますので公共交通機関をご利用ください。
- ・お申込み不要、定員300名です。医師以外の職種の方のご参加も大歓迎です。

(※託児をご希望の方は11月1日(金)までに岡山県医師会へお申込みください)

※研修会当日(11月9日)の連絡先：岡山県医師会 ☎086-250-5111 (代表)

気象警報の発表等により、やむを得ず研修会を中止する場合があります。中止する場合は、岡山県医師会ホームページ及び休日夜間自動音声案内：☎086-230-7180でお知らせいたします。

★日医生涯教育講座単位、専門医共通講習

講演1・・・cc7(1.0単位)、【専門医共通講習-③医療安全(必修):1単位】

講演2・・・cc8(1.0単位)、【専門医共通講習-②感染対策(必修):1単位】

講演3・・・cc2,3(各0.5単位)、【専門医共通講習-①医療倫理(必修):1単位】

主催 公益社団法人 岡山県医師会 住所 〒700-0024 岡山市北区駅元町19-2

TEL 086-250-5111 FAX 086-251-6622 MAIL oma@po.okayama.med.or.jp